



三井海洋開発株式会社
2022年12月期
決算説明会

2023年2月15日



1. 事業の概況
2. 外部環境と今後の見通し
3. 中長期的な取り組み
4. 決算概要

(注意事項)

当社の連結業績は、2021年度連結会計年度の期末決算より従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(以下、IFRS)を適用しております。また通貨単位につきましても従来の日本円に替えて米ドルでの表示に変更となっております。

これにより本資料内では過年度数値について以下の取り扱いをしております。

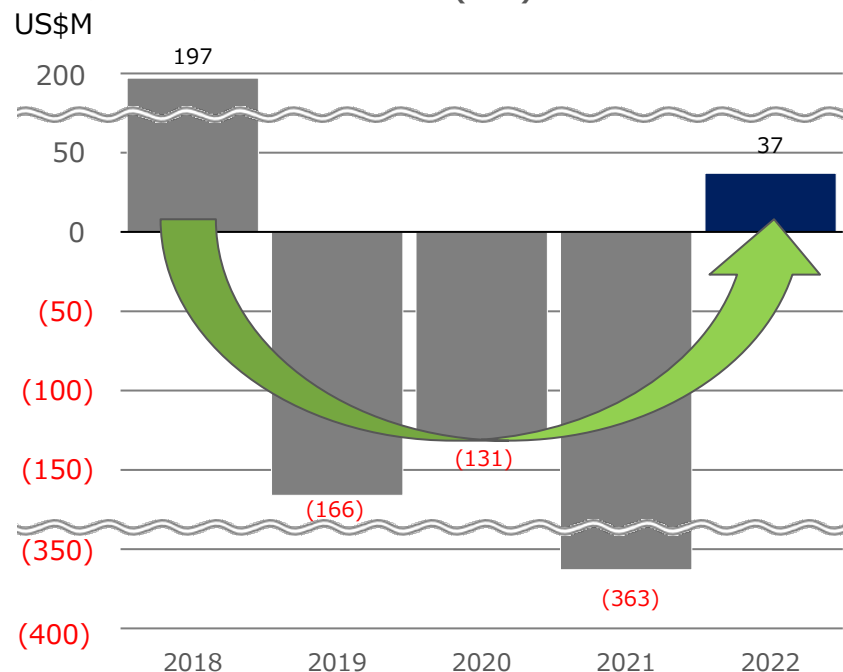
- ・2020年度以降：IFRSベースに準拠(米ドル)
- ・2019年度以前：日本基準(日本円)の決算数値を各決算期末の対顧客電信直物相場の仲値で米ドルに換算

2018年：1米ドル=111.02円

2019年：1米ドル=109.54円

2023年12月期：ハイライト

<親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)>











4期振りに黒字を確保

- Woodside Sangomar、Equinor Bacalhauを中心とした建造案件の進捗、追加工事代金の回収を計上
- MV31 FPSO Guanabaraのチャーターが開始
- MV34 FPSO MIAMTEのチャーター収益認識開始



2022年12月期：建造工事の状況(2022年12月現在)

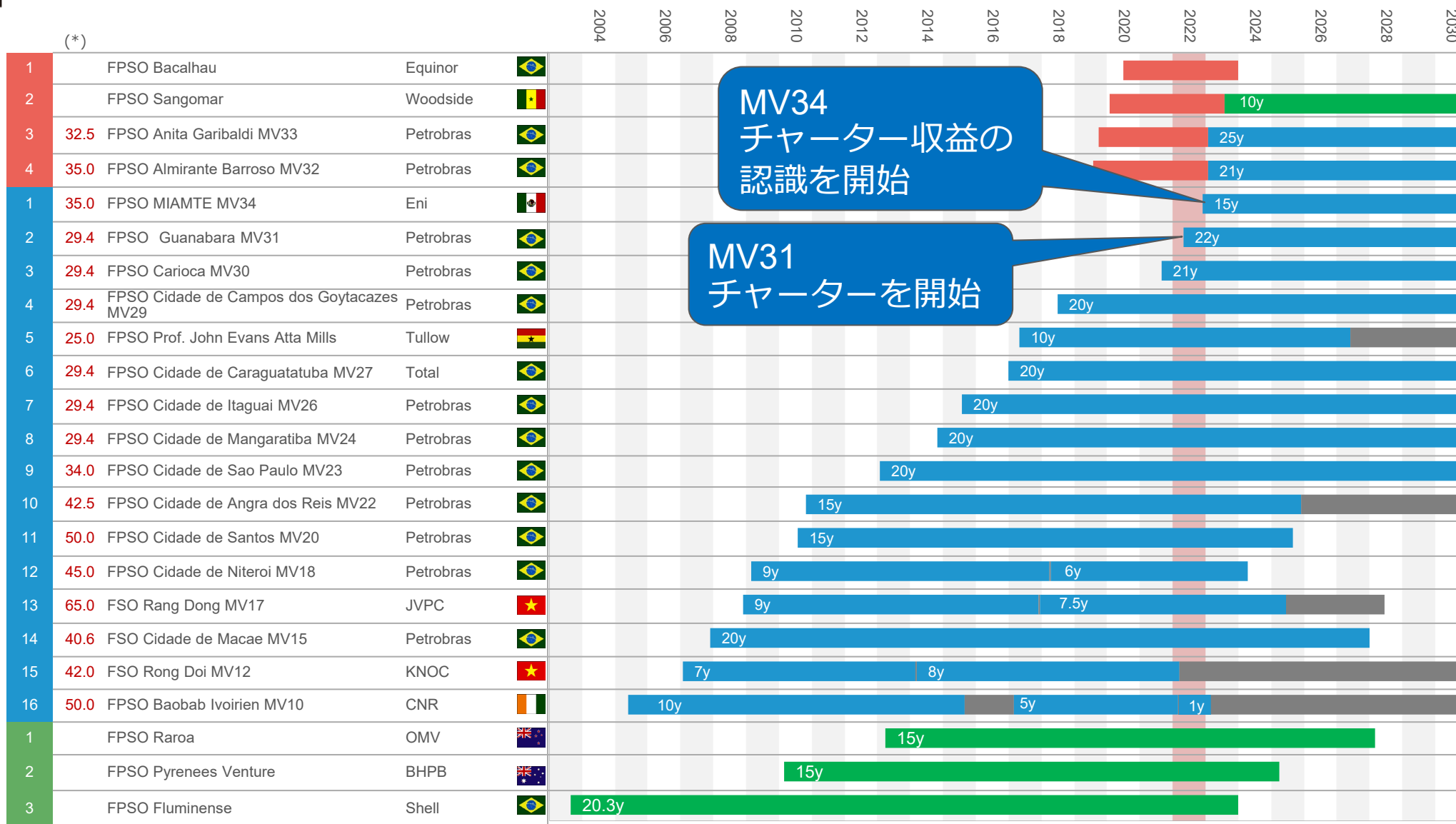
	FPSO Almirante Barroso MV32	FPSO Anita Garibaldi MV33	FPSO Sangomar	FPSO Bacalhau
顧客	Petrobras	Petrobras	Woodside	Equinor
契約形態	EPCI + Time Charter (21年)	EPCI + Time Charter (25年)	Purchase Contract + O&M (10年+1年毎x10の延長オ プション)	EPCI + Short term O&M
引渡し (予定)	2023年	2023年	2023年	2024年
鉱区	Búzios	Marlim	Sangomar	Bacalhau
所在地	ブラジル 	ブラジル 	セネガル 	ブラジル 
水深	1,900 m	670 m	780 m	2,027 m
貯油能力 生産量	1,400,000 bbls 150,000 bopd 212 mmscfd 	1,000,000 bbls 80,000 bopd 248 mmscfd 	1,300,000 bbls 100,000 bopd 130 mmscfd 	2,000,000 bbls 220,000 bopd 500 mmscfd 

MODECについて

EPC(I)/ チャーター、オペレーション期間

2023年1月現在

- EPC(I) 期間
- チャーター期間 (確定)
- チャーター期間 (オプション)
- オペレーション期間



MV34
チャーター収益の
認識を開始

MV31
チャーターを開始

(*) 当社グループ保有 (%)
持分法適用関連会社
連結子会社



1. 事業の概況
 2. 外部環境と今後の見通し
 3. 中長期的な取り組み
 4. 決算概要
-

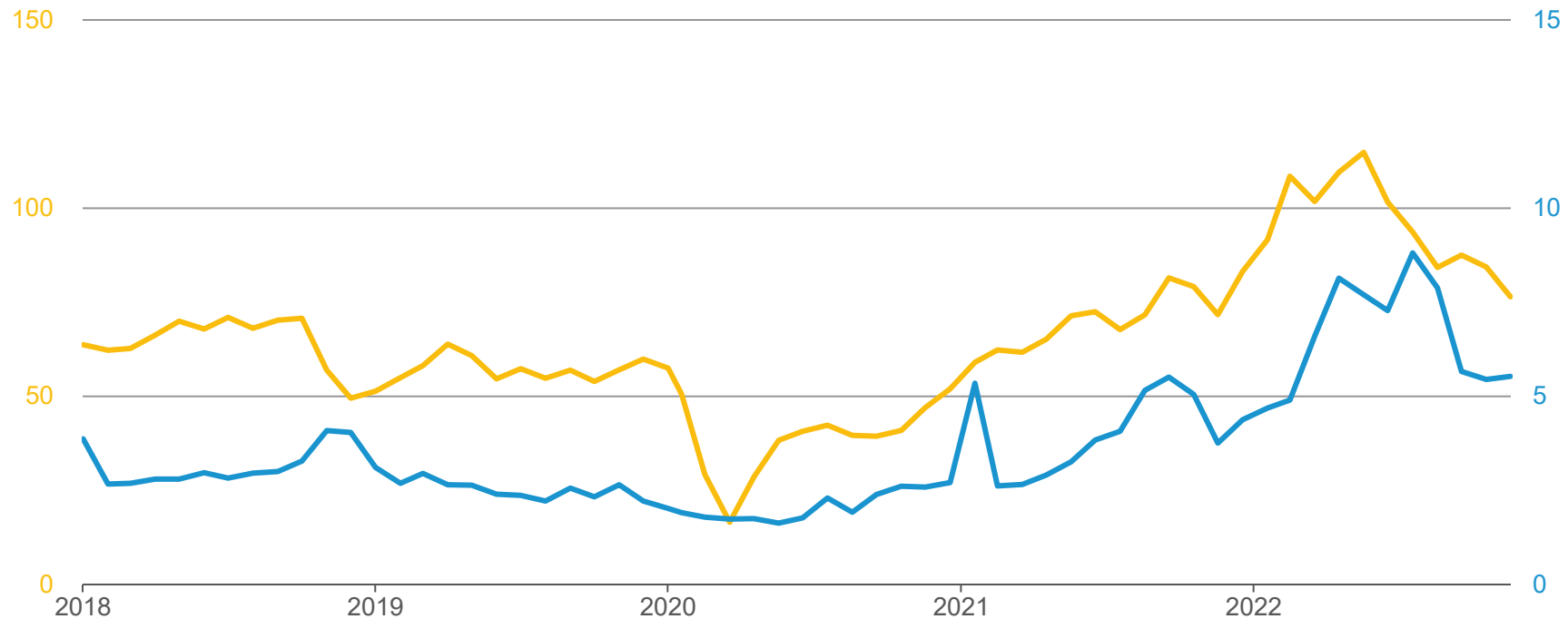
原油・天然ガス価格 (WTI/Henry Hub)

原油価格は、新型コロナウイルス感染症の流行に端を発する原油需要の低下により、2020年前半にはWTIが一時大幅に下落したものの、EUによるロシア産原油の禁輸措置の導入を発端に、供給不足が強まるなどの見方などから価格が高騰し、石油会社の開発姿勢にも影響が見られる。

原油・天然ガス価格 (WTI/Henry Hub)

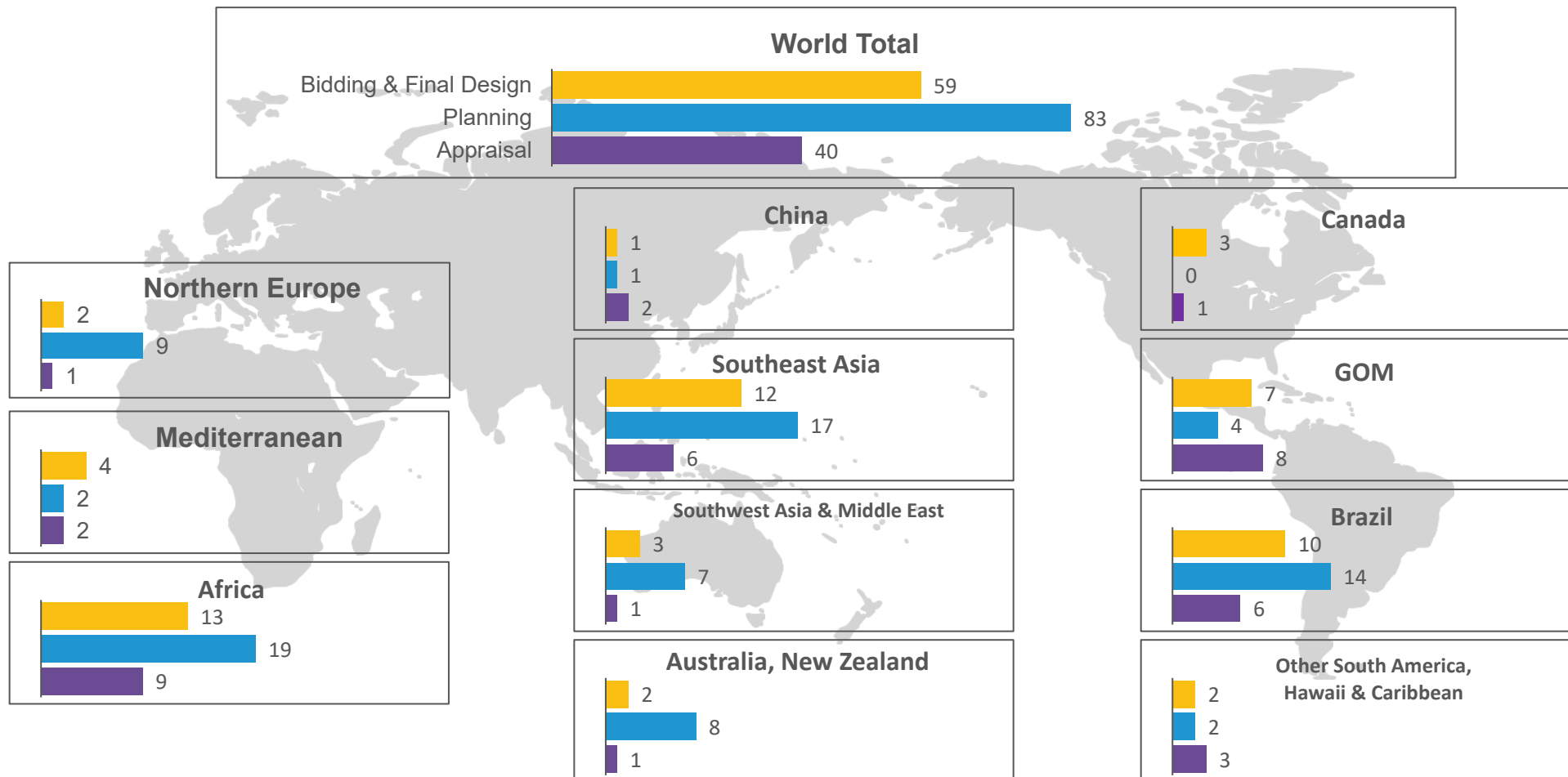
米ドル/バレル

米ドル/百万BTU



中南米、アフリカ、東南アジア海域における海洋油田の開発意欲は依然として高い

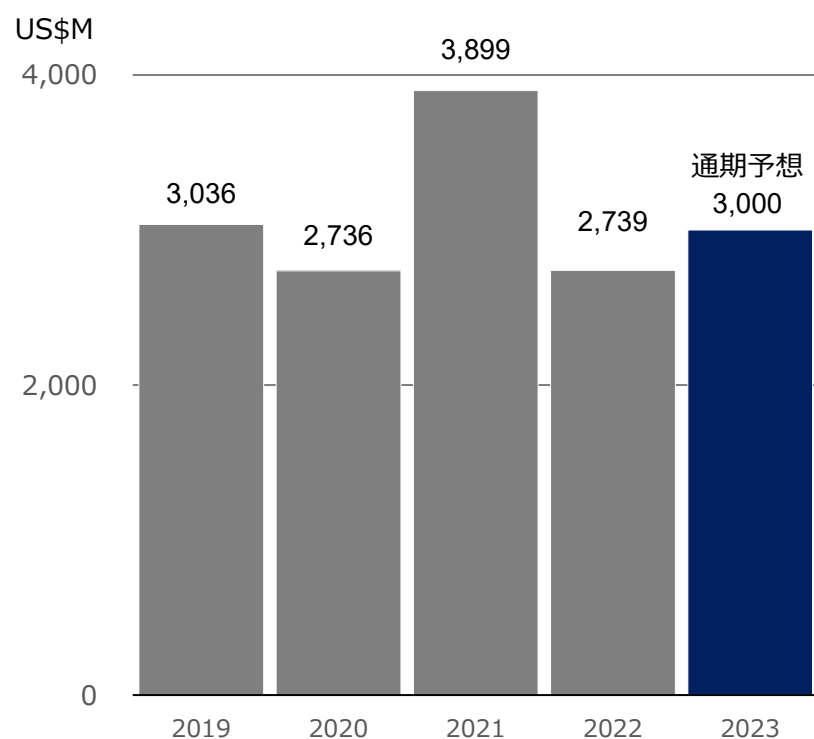
浮体式海洋石油・ガス生産設備の利用が予想されているプロジェクト数（2023年1月現在）



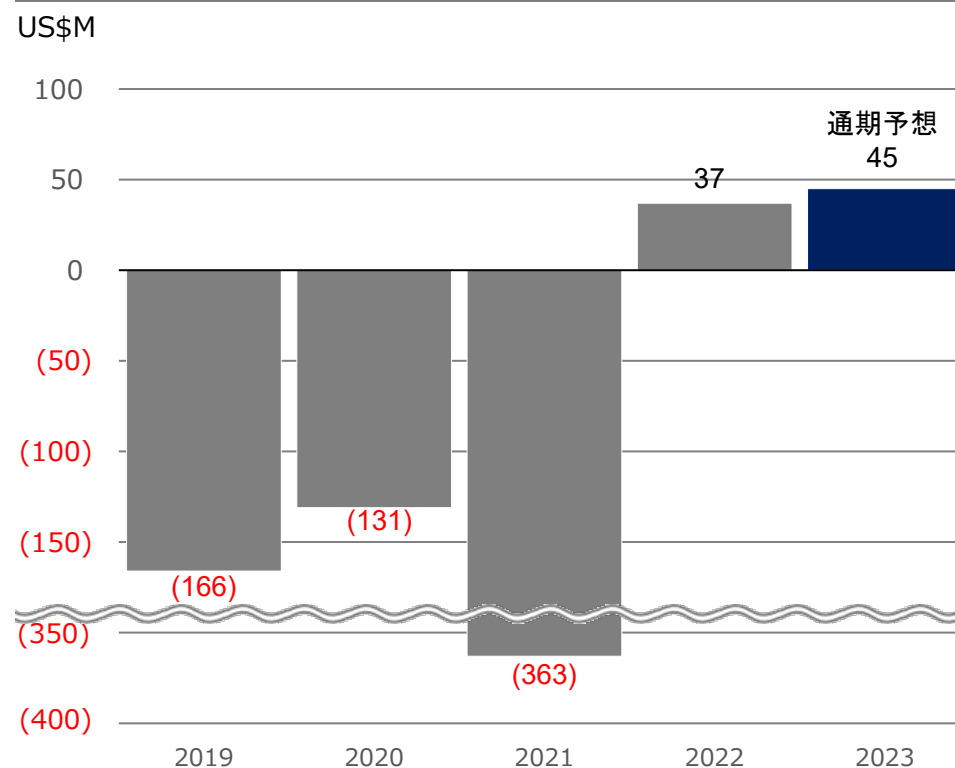
2023年12月期：業績予想

- Woodside Sangomar、Equinor Bacalhauの建造案件の進捗、及び新規案件の受注により、売上収益はUS\$3,000Mを見込む
- FPSOの追加修繕費用を見込むものの、新規受注案件の建造工事進捗や、MV32、MV33のチャーターインによる持分法投資利益や受取利息の積み上げによりUS\$45Mの当期利益を確保

売上収益



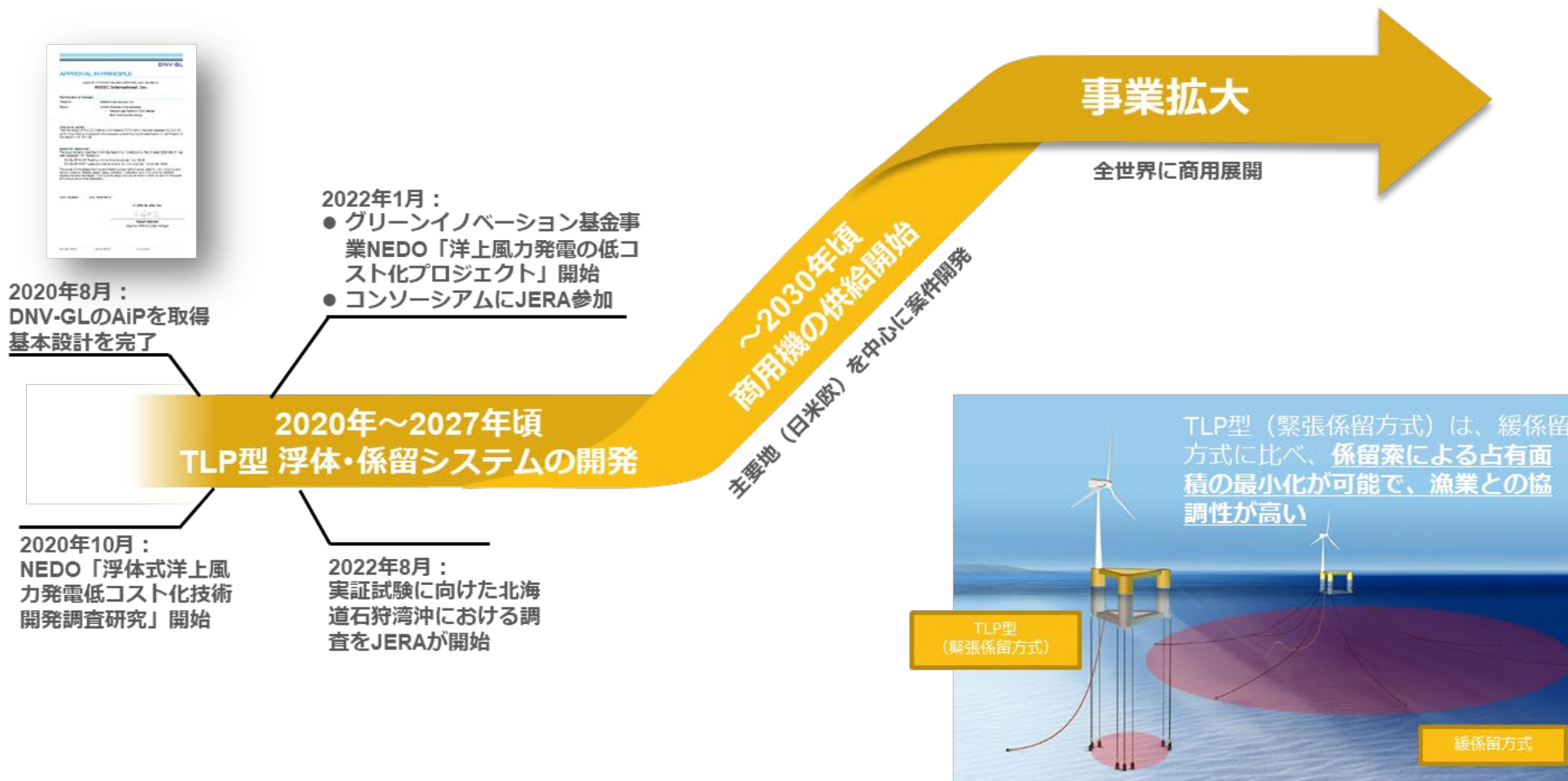
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)



1. 事業の概況
2. 外部環境と今後の見通し
3. 中長期的な取り組み
4. 決算概要



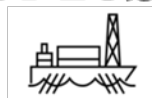
洋上風力発電事業



FPSOの低炭素化への取り組み

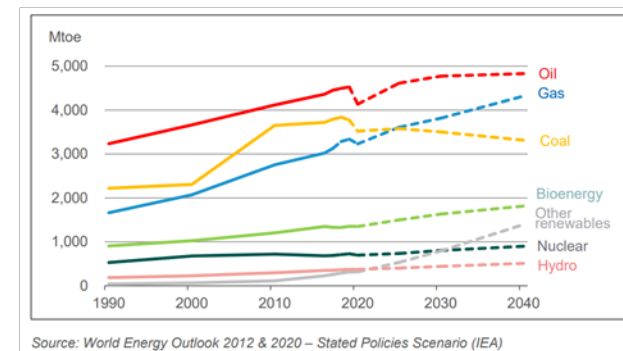
中長期的にもOil・Gasは世界の主要なエネルギー源の一つであり続ける見込み

MODECはエネルギー需要の充足・環境保護の両立で社会に貢献



FPSOの低炭素化への取り組みを今後加速

足元の漸増的な技術改善の実行と、中長期タイムスパンの劇的な技術革新の両輪を回す



現状の取り組み

- 操業中のFPSOからのGHG排出量の算定を2021年より開始
2021年度排出量につきウェブサイトにて公開済

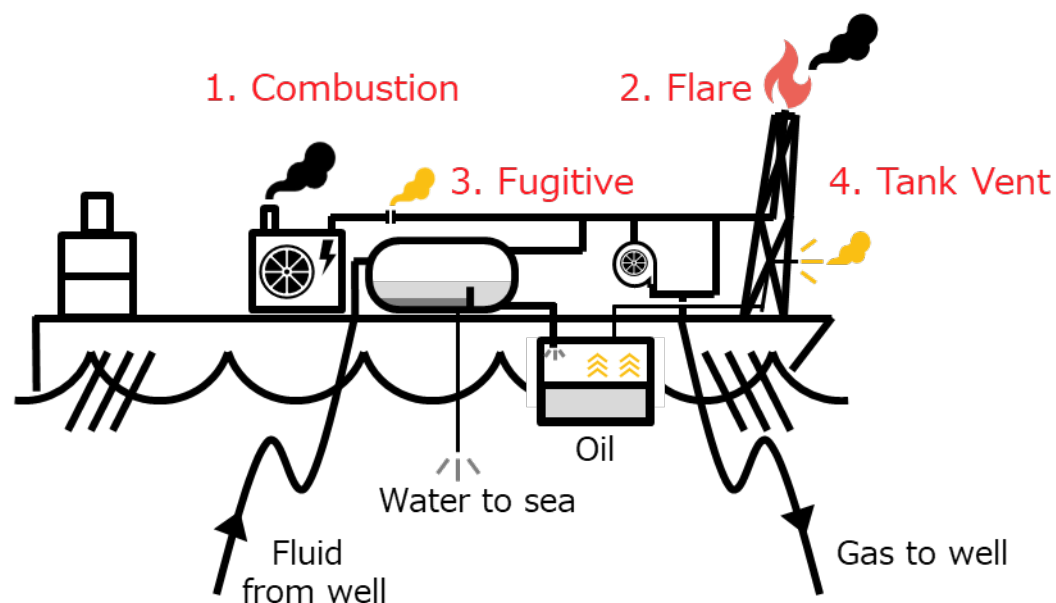
CO2e: 温暖化係数をもとに全GHGをCO2量に換算した値

	FY 2019	FY 2020	FY 2021
Scope 1	0	0	0
Scope 2	0.2万t-CO2e	0.1万t-CO2e	0.1万t-CO2e
Scope 3	-	-	380万t-CO2e

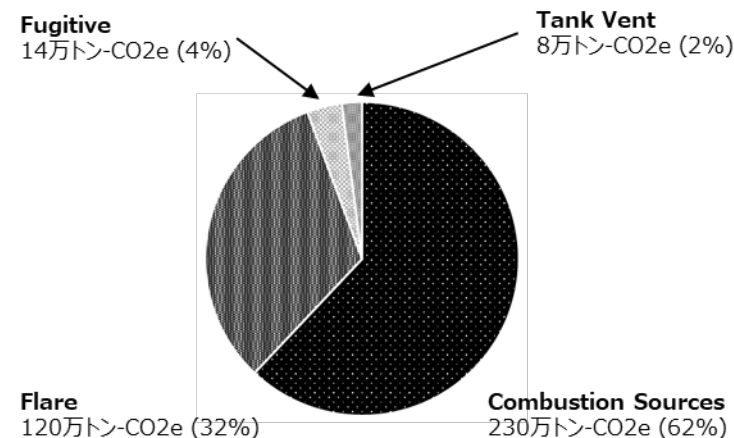
- Equinor Bacalhau FPSOが搭載する発電設備に、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせたコンバインドサイクル発電方式を採用。高温排ガスを熱回収し、総合熱効率を向上させる発電方式を採用することで、FPSOのオペレーション時における二酸化炭素排出量削減にも寄与



4つの主要GHG排出源



GHG Emissions from All MODEC F(P)SOs (2021)



1. Combustion Sources

電気や熱を得るために燃料を燃やすことによる排出
発電機やボイラー等

2. Flare

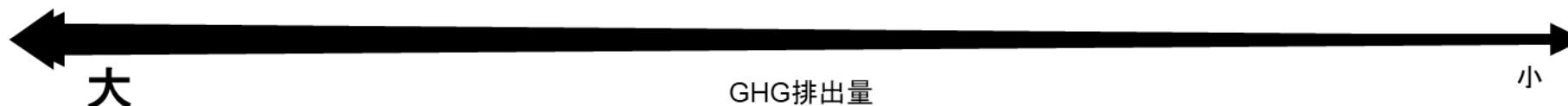
プラント緊急停止時に、環境安全のためFPSO内の随伴ガスを燃焼して排出

3. Fugitive Emissions

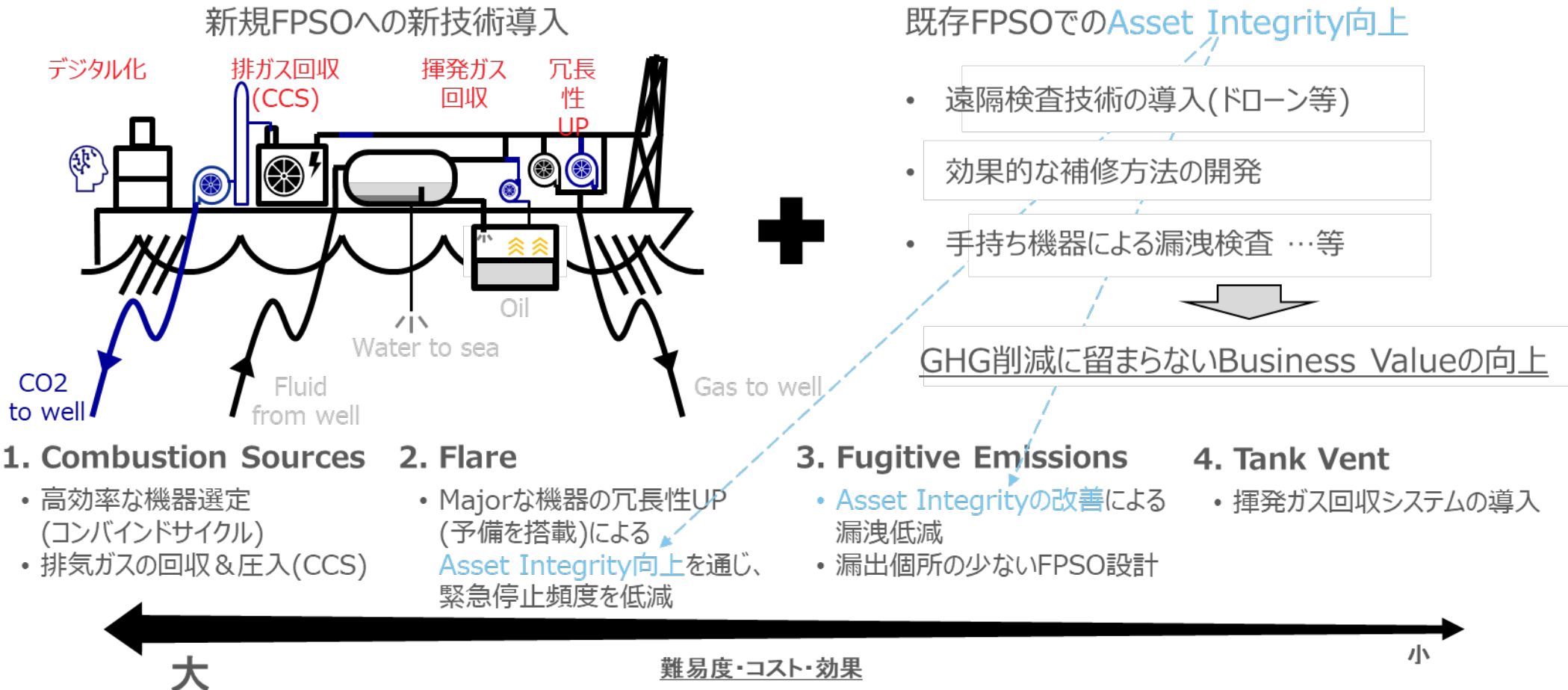
配管の継ぎ手（フランジ）や機器から恒常的にガスが漏れ出すことによる排出

4. Tank Vent

オイル貯蔵タンクから揮発したガスによる排出



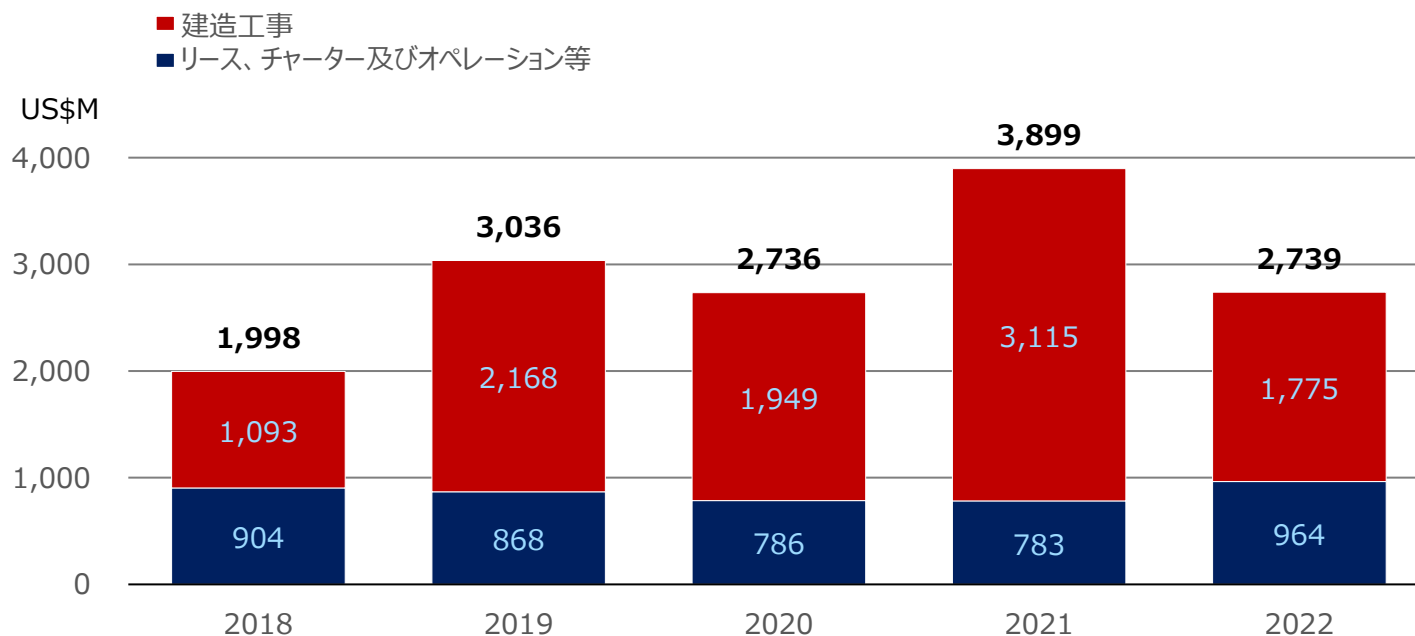
GHG排出量削減施策



1. 事業の概況
 2. 外部環境と今後の見通し
 3. 中長期的な取り組み
 4. 決算概要
-

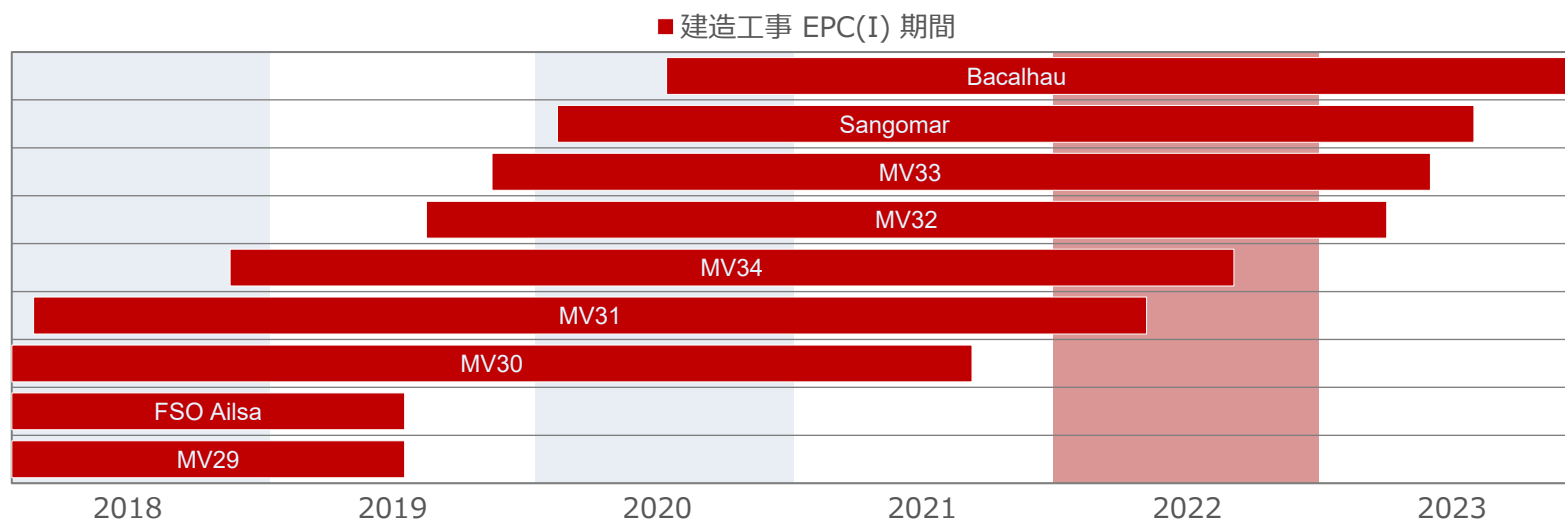


売上収益



2020年レベルの売上収益を確保

- Woodside Sangomar、Equinor Bacalhauを中心とした建造案件の進捗、追加工事代金の回収などが売上収益に貢献
- ペトロブラス案件建造工事は終盤に差し掛かり売上収益はスローダウン



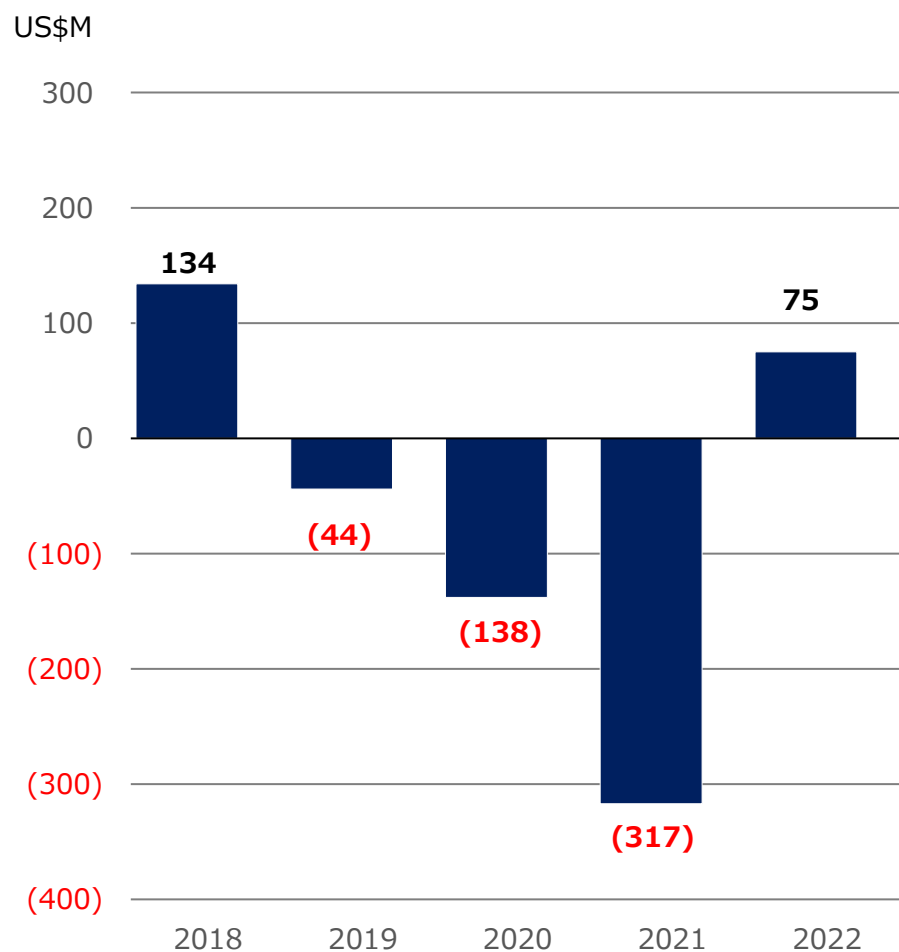
2022年度 建造工事売上明細 (US\$M)

Bacalhau	: 600
Sangomar	: 500
MV32	: 200
MV33	: 100

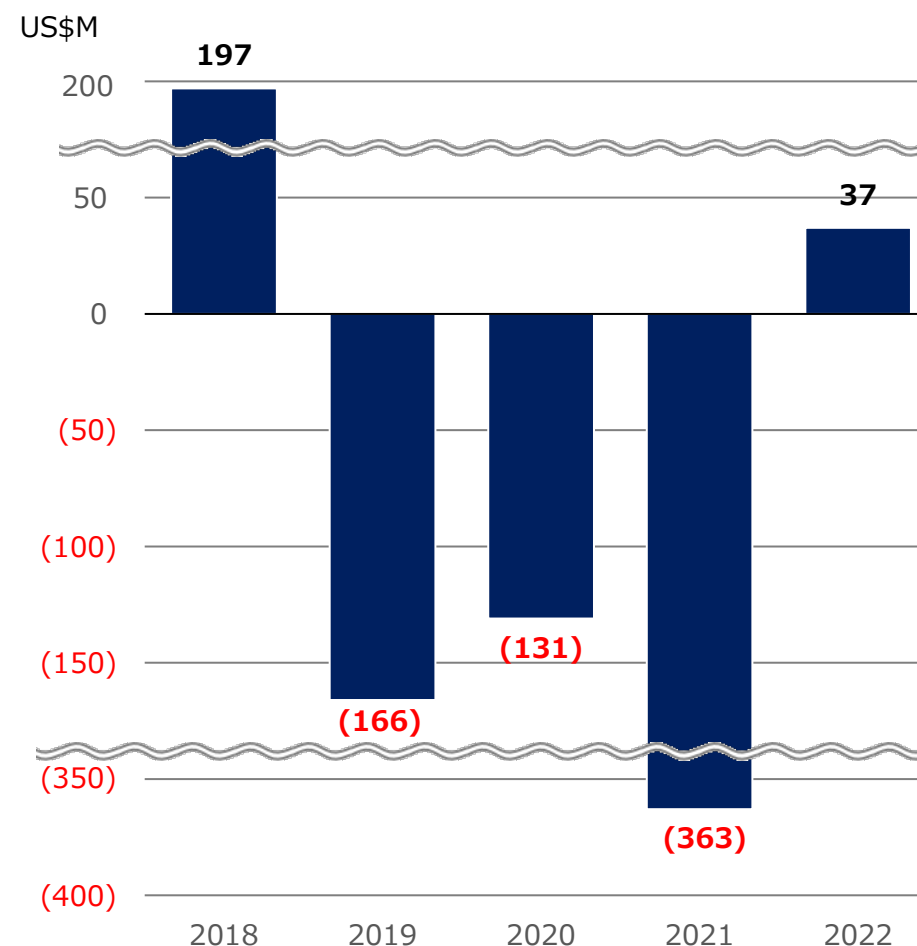
営業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益

営業利益 US\$75M、当期利益 US\$37M、EBITDA US\$126M(P19参照)を計上

営業利益(損失)



親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)

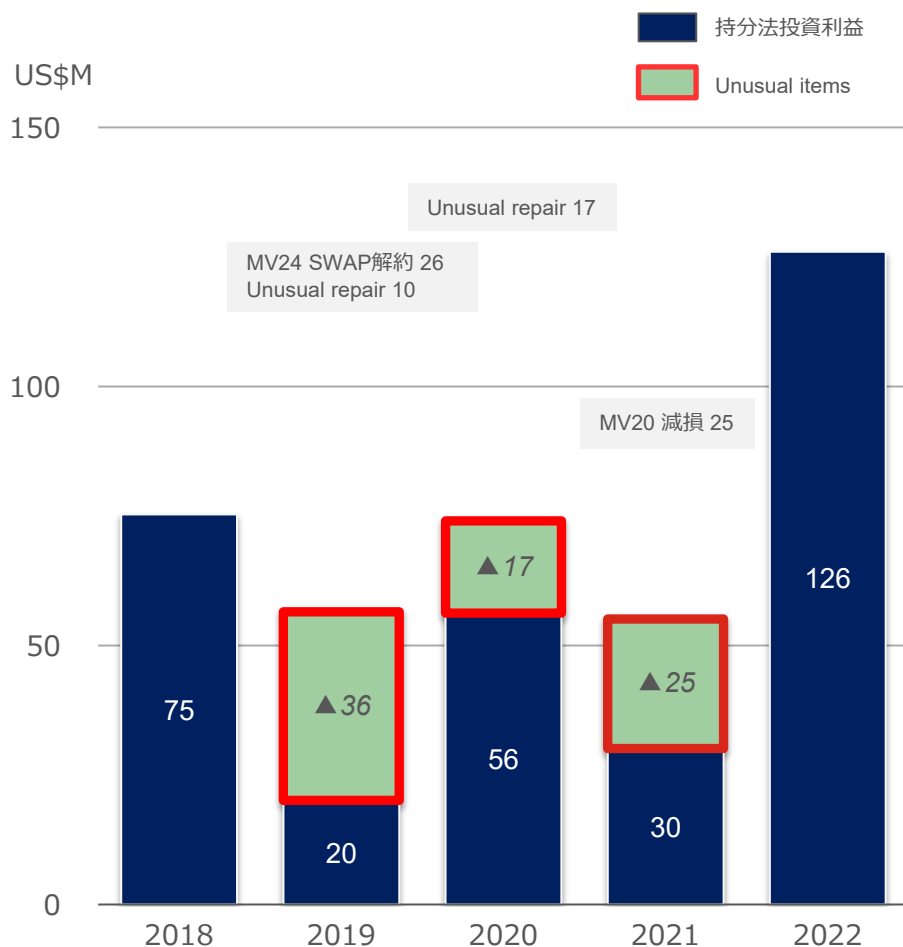


(Note) 2020年度よりIFRSに移行し、持分法投資利益等を営業利益として計上

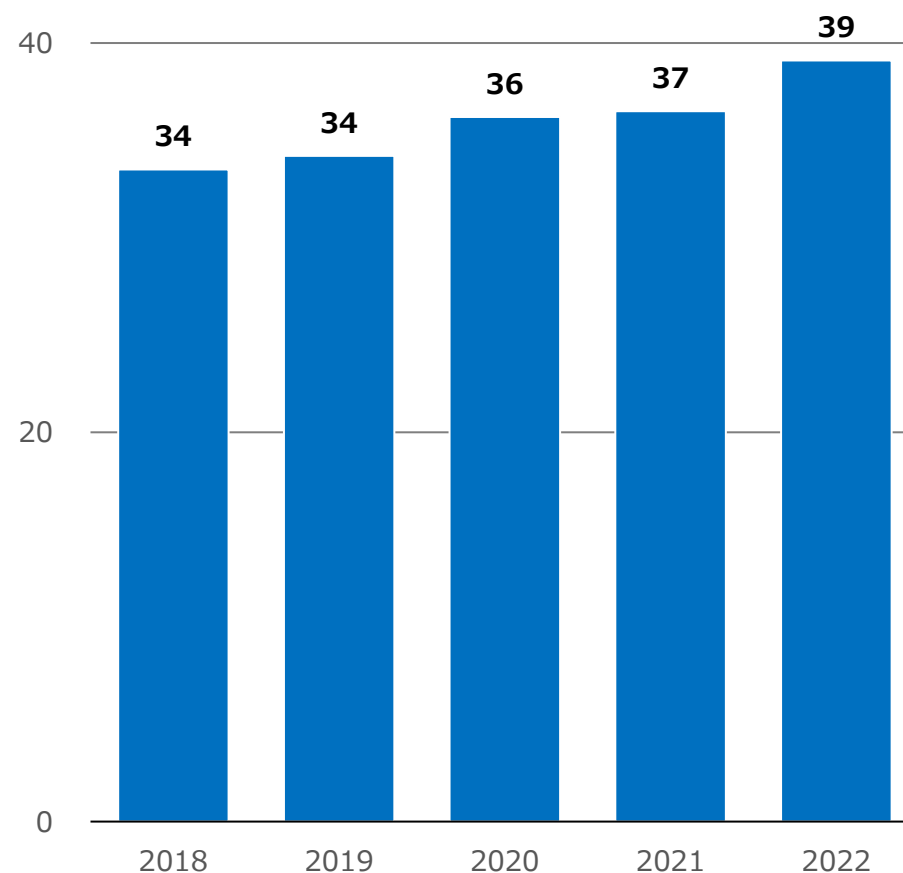
持分法投資利益・受取利息

昨年度は長期操業停止を余儀なくされたブラジルフリートの操業率の改善、及び昨年度から今年度にかけてチャーターインを達成したMV30、MV31の貢献により高水準の持分法投資利益を確保

持分法投資利益(チャーター関連会社)



受取利息(チャーター事業関連)



Adjusted EBITDA

	GAAPベース	Adj. GAAPベース(*)
EPCI + O&M Operations	\$ 30MM	\$ 30MM
Charter Operations	\$ 210MM	\$ 124MM
Service Fee (PL / CF)	\$ 38MM	\$ 38MM
利息の受取額 (PL / CF)	\$ 45MM	\$ 40MM
持分法による投資利益 (PL) / 配当金の受取額 (CF)	\$ 127MM	\$ 46MM
販売費および一般管理費 (PL)	\$ ▲153MM	\$ ▲153MM
減価償却費 (CF)	\$ 39MM	\$ 39MM
リース債務の返済による支払 (CF)	\$ ▲21MM	\$ ▲21MM
一過性コスト	\$ 106MM	\$ 106MM
Covid-19 影響	\$ 78MM	\$ 78MM
大規模修繕工事	\$ 22MM	\$ 22MM
その他	\$ 6MM	\$ 6MM
Adjusted EBITDA	\$ 211MM	\$ 126MM

- 配当金の受取額 (Adj. GAAP) : SPCからの配当金受領額
 - ✓ 主に前年度までのチャーター収益を原資として実行された配当金

※ 配当金は各時点の現預金残高をベースにSponsor間の合意により実行されることから持分法利益とは認識タイミングに差異が生じる

- 一過性のコスト増加要因を調整

Covid-19影響

Covid-19に起因するEPCIの工事遅延やO&Mの対策費用を集計

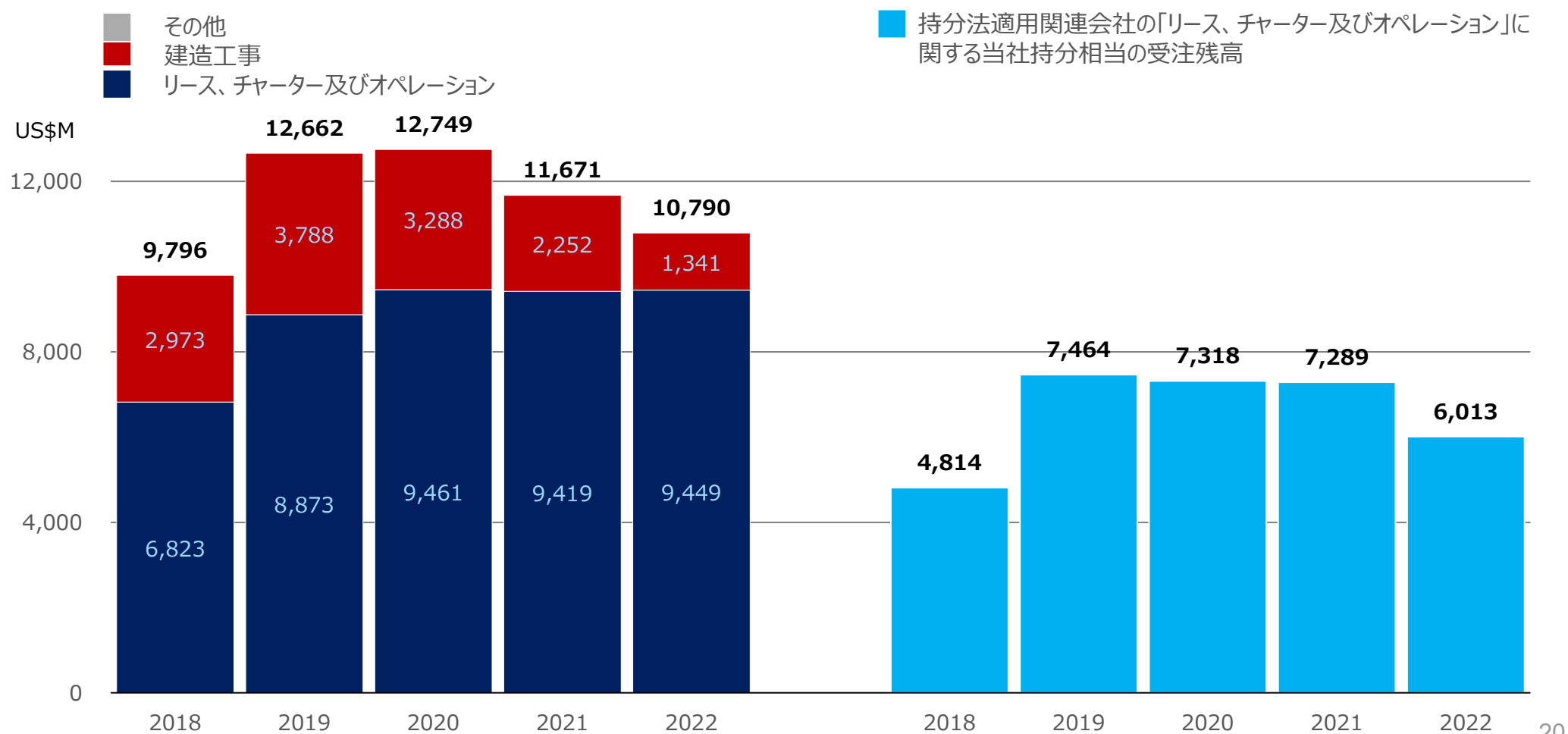
大規模修繕 (Special Maintenance)

MV15/18/20でフローテルを用いた修繕工事費用を集計

(*) Adj. GAAPのCharter OperationsはCFベース

受注残高

- チャーター・O&Mの受注残高は長期契約により高位で安定的に推移
- 建造工事の受注残高は、既存工事の進捗により減少・新規建造プロジェクトの受注に注力



財政状態およびキャッシュ・フロー

財政状態

単位：US\$M	2021.12	2022.12	増減
現金及び現金同等物	810	492	-318
営業債権及びその他の債権	379	478	99
契約資産	704	257	-447
持分法で会計処理されている投資	739	1,114	375
長期貸付金	398	365	-33
資産合計	3,425	3,136	-289
	2021.12	2022.12	増減
営業債務及びその他の債務	1,356	921	-435
契約負債	405	499	94
社債及び短期借入金	426	19	-407
長期借入金	55	374	319
負債合計	2,870	2,295	-575
利益剰余金	85	131	46
その他の資本の構成要素	-115	118	233
親会社の所有者に帰属する持分合計	532	811	279
非支配株主持分	22	29	7
資本合計	554	841	287
負債及び資本合計	3,425	3,136	-289
D/E レシオ	0.8倍	0.5倍	-0.3ポイント

キャッシュ・フロー

単位：US\$M	2021.12	2022.12	増減
営業キャッシュフロー	152	-208	-360
投資キャッシュフロー	-220	-56	164
フリーキャッシュフロー	-68	-265	-197



Thank you

